

事業所名		リライト		支援プログラム（児童発達支援）		作成日	令和7年3月24日
法人（事業所）理念		みんなが「わ」になるように。 誰もが「和」になり、幸せな気持ちでいられること。 誰もが「輪」になり、分かり合えること。					
支援方針		子どもたち自身が自分の生き方をみつめ、可能性を発見し、個性を発揮できるよう、どんな可能性も希望としてとらえ、肯定していきましょう。支援者自身が子どもたちとかかわる中で成長していける発見を常に探し続けましょう。					
営業時間		月曜日～土曜日 11:00～17:30		送迎実施の有無		あり	なし
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	生活習慣について傾聴を行い、生活面について保護者に助言・支援していく。食事について、食事が楽しいものだと思うような環境づくりや体験を重ねていく。偏食がある場合は感覚的なのか経験からくるものなのかを精査し、過程で取り組めることをアドバイスするとともに事業所でも食育を行う。外遊びで日光を浴びながら遊ぶことで健康的な生活サイクルをはぐくむ。					
	運動・感覚	感覚遊びやコグトレを用いて、運動面の発達を促す。また、苦手な動きや感覚をトレーニングすることで苦手さを克服できるよう支援していく。外に出てめいっぱい体を動かすことで心身のバランスを整える。					
	認知・行動	SSTを通して、相手の言動に対してどう捉えるかや自分自身の言動をどうするかを一緒に考える。コグトレを用いて「見つける」「覚える」「写す」「想像する」「数える」力を身に着け、学習面における土台を形成する。					
	言語コミュニケーション	ボール遊びや、おままごとなどで日常生活で使う言葉を場面に合った使う方ができるようコミュニケーションする。コミュニケーションにおける言葉の選び方や、相手の言葉の受け取り方を何度も反復して練習し取り組むことで良好な人間関係の形成を支援する。現代における、スマホを通じたかわりについても、専門の講師を招き、保護者や子どもたちに向けて、情報発信を行う。					
	人間関係社会性	日常で起きる可能性のある状況を想定しながら、会話を通して人のかかわり方を助言し、どう行動するかを一緒に考える。成長に合わせて、新しいことにチャレンジできるよう保護者の方と連携しながら、社会的なルールや、移動方法を考える。児童同士のかかわりの中で起きた出来事を支援者がかわり、どのようにとらえ行動するかを一緒に考える。					
家族支援		食育や発達についての情報提供 レスパイトケア		移行支援		保育園や幼稚園から小学校への進学相談 他事業所への情報提供	
地域支援・地域連携		地域イベントへの参加・地域の方と餅つき・障害福祉キャンペーン実行委員会への参加（地域への障害福祉の啓発）		職員の質の向上		1年間で11回の研修を実施（子どもとの関わり方・車両管理・学習支援と記録・コグトレ・リスクマネジメント・人権擁護虐待防止身体拘束適正化・非常災害・衛生管理・緊急時対応）	
主な行事等		保護者会・おもちつき・合宿・お誕生日会・ハロウィン・クリスマス・お料理会など					

事業所名		リライト		支援プログラム（放課後等デイサービス）		作成日	令和7年3月24日
法人（事業所）理念		みんなが「わ」になるように。 誰もが「和」になり、幸せな気持ちでいられること。 誰もが「輪」になり、分かり合えること。					
支援方針		子どもたち自身が自分の生き方をみつまめ、可能性を発見し、個性を発揮できるよう、どんな可能性も希望としてとらえ、肯定していきましょう。 支援者自身が子どもたちとかかわる中で成長していける発見を常に探し続けましょう。					
営業時間		月曜日～土曜日 11:00～17:30		送迎実施の有無		あり	なし
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	自分自身の健康面について振り返るとともに、生活習慣について傾聴を行い、生活面について保護者に助言・支援していく。 食事について、偏食がある場合は感覚的なのか経験からくるものなのかを精査し、過程で取り組めることをアドバイスするとともに事業所でも食育を行う。 外遊びで日光を浴びながら遊ぶことで健康的な生活サイクルをはぐくむ。					
	運動・感覚	感覚遊びやコグトレを用いて、運動面の発達を促す。 また、苦手な動きや感覚をトレーニングすることで苦手さを克服できるよう支援していく。 外に出てめいっぱい体を動かすことで心身のバランスを整える。					
	認知・行動	SSTを通して、相手の言動に対してどう捉えるかや自分自身の言動をどうするかを一緒に考える。 コグトレを用いて「見つける」「覚える」「写す」「想像する」「数える」力を身に着け、学習面における土台を形成する。					
	言語 コミュニケーション	ボール遊びや、おままごとなどで日常生活で使う言葉を場面に合った使う方ができるようコミュニケーションする。 コミュニケーションにおける言葉の選び方や、相手の言葉の受け取り方を何度も反復して練習し取り組むことで良好な人間関係の形成を支援する。 現代における、スマホを通じたかかわりについても、専門の講師を招き、保護者や子どもたちに向けて、情報発信を行う。					
	人間関係 社会性	日常で起きる可能性のある状況を想定しながら、会話を通して人のかかわり方を助言し、どう行動するかを一緒に考える。 成長に合わせて、新しいことにチャレンジできるよう保護者の方と連携しながら、社会的なルールや、移動方法を考える。 児童同士のかかわりの中で起きた出来事を支援者がかかわり、どのようにとらえ行動するかを一緒に考える。					
家族支援		食育や発達についての情報提供 レスパイトケア		移行支援		小学校から中学校、中学校から高校卒業後の進路の相談 他事業所への情報提供	
地域支援・地域連携		地域イベントへの参加・地域の方と餅つき・障害福祉キャンペーン実行委員会への参加（地域への障害福祉の啓発）		職員の質の向上		1年間で11回の研修を実施（子どもとの関わり方・車両管理・学習支援と記録・コグトレ・リスクマネジメント・人権擁護虐待防止身体拘束適正化・非常災害・衛生管理・緊急時対応）	
主な行事等		保護者会・おもちつき・合宿・お誕生日会・ハロウィン・クリスマス・お料理会など					